

## 環境リサイクル肉牛協議会第 13 回総会

### 特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 4 回通常総会

#### 議 案 書

日 時： 2012 年 6 月 2 日(土)11:10～

場 所： ランチヨ エルパソ 2F

#### 会議 次第

1. 開会挨拶
2. 議長・議事録署名人の選出、書記指名
3. 議事
  - 1) 第 1 号議案 2011 年度事業報告及び収支決算に関する件
  - 2) 第 2 号議案 2012 年度事業計画及び収支予算に関する件
  - 3) その他
4. 閉会

#### 第 1 号議案

##### 2011 年度事業報告

1. 会員(2011 年度)	個人会員	17	
	団体会員	13	
1)	生産者・生産者団体	9	
2)	食肉流通業者	5	
3)	消費者団体	1	
4)	学研・指導機関	8	
5)	飼料・食品業者	7	
合 計		30	前年比 +1
入会 中野健介 氏			

#### 2. 組織体制の整備と部門制の確立

前年度と同様に理事が遠隔地に分散しており拡大理事会の開催等で畜産試験場、JA めむろの会員等の協力を得て会の運営に当たった。役割分担は以下のとおり事務局と畜産試験場が主体的に対処。

- 1) 会の運営・全体情宣活動 = 事務局
- 2) シンポジウム運営 = 畜産試験場
- 3) 「アグリサイクル」発行 = 事務局
- 4) 「e-び-ふ」認定委員会 = 畜産試験場
- 5) 生産情報収集・資料作成・ホームページ = 事務局

### 3. 機関誌の発行

機関誌「アグリサイクル」10号は力量不足により発行に至らず。機関誌の名称「アグリサイクル」について、2012年3月に柳野国際特許事務所を代理人とする(財)雑賀技術研究所より商標権侵害に当たるとの指摘を受け、(株)マルハニチロ畜産の法規審査部の助言・指導のもとに対応し、商標権侵害に当たらない旨の解釈を主張し、今後機関誌の名称を見直すという回答を送った。

### 4. インターネットホームページによる情報提供 <http://www.recycle-gyu.com>

ホームページの名称「アグリサイクル」も3月以降「環境リサイクル肉牛協議会」に変更している。2-3ヵ月毎の年4-5回の更新を計画したが、年度内更新は2回のみとなった。

### 5. 総会・理事会の開催

- 1) 総会 第12回総会 2011年6月11日(土)10:00～  
場所 ランチョ・エルパソ 2F
- 2) 理事会 6/10, 10/27, 3/21 計3回開催。活動状況点検、商標登録について
- 3) 幹事・実行委員会 8/8, 10/27, 11/1 計3回開催。シンポジウムの企画・準備・運営。

### 6. 2010年度レインボー・パール基金助成対象活動の取り組み

「酪農で廃棄されるフリーマーチン雌の集約放牧と副産物飼料利用による肉生産への活用技術の試験研究」の課題で10万円の助成を受けて稚内 樺岡ファーム、足寄町 大平牧場との共同研究事業を実施。今年度は稚内樺岡ファームにおける放牧飼養による発育成績を調査した。(別紙 肉用牛飼養技術研修会資料2 参照)

### 7. 「e-び-ふ」認定事業の取り組み

### 8. 資源循環型牛肉生産シンポジウムの開催

- ・ 資源循環型牛肉生産シンポジウム 2011
- ・ テーマ : 地域副産物・自給飼料活用による牛肉生産と求められる肉質
- ・ 11月2日(水)13:15～16:30 会場:とかちプラザ レインボーホール
- ・ 主催/(特)環境リサイクル肉牛協議会、北海道アングス牛振興協議会、北海道日本短各種研究会 共催/帯広市ほか2団体、後援/北海道十勝総合振興局ほか6団体
- ・ 参加者 130人、
- ・ 現地検討会:11月3日(木)9:00-12:00 鹿追町笹川北斗肥育センター、  
参加者 30名

事業報告書、シンポジウム収支資料

## 9. 比較食味テスト

e-びーふ牛肉の食味性比較を総会・研修会およびシンポジウム開催と併せて実施。

## 10. 肉牛飼養技術研修会の開催

### 1) 第1回 6月11日(土) 参加者25名

話題提供 1) 黒毛和種放牧育成牛に対するデンブン粕サイレージの給与法  
道総研 畜産試験場 大井 幹記 氏

話題提供 2) トウモロコシサイレージを利用した和牛の肥育  
道総研 畜産試験場 杉本 昌仁 氏

## 2011 年度収支決算報告

決算書・監査報告、収支計算書、貸借対照表および財産目録

## 第2号議案

## 2012 年度事業計画

平成 24 年度事業計画書（別紙 参照）

### 1. 会員募集(2012 年度)

生産農家・流通業者・消費者団体・学術行政指導機関・飼料生産・流通関係者等  
広範囲に理解者を参集して目標会員数 合計 30 名以上。

### 2. 組織体制の整備・強化

#### 1) 強化の必要な部門の充実

(1) 総務担当 → 協議会の会務・運営(事務局)

(2) 事業部・機関誌編集・ホームページ担当 → 情宣活動全般

2) 理事体制の強化 帯広近隣から理事を選出し、事務局の充実を図る。

### 3. 通常総会と理事会の随時開催

1) 2012 年度第 13 回定期総会(NPO 法人第 4 回通常総会)

2) 理事会 必要に応じ開催する。

協議会活動の進捗状況の報告と分析、予算の修正。

### 4. 「e-びーふ」認証事業の活性化; 認証農家の増加 : 定款5条1-①

1) 新たな e-びーふ認証農家の発掘。

2) 認証適格農場の実態調査。

3) モデル農場の展示紹介、パネル設置等の啓蒙活動を推進する。

4) 「e-びーふ」の商標登録の取り組み

### 5. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 : 定款5条1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査
  - 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産の試験成績の学習検討会開催
6. 2011年度レインボー・パール基金助成事業の取り組み：定款5条1-③
- 課題「酪農で廃棄されるフリーマーチン雌の集約放牧と副産物飼料利用による肉生産への活用技術の試験研究」について稚内市 樺岡牧場、足寄町 大平牧場との共同研究事業を企画する。(別紙 2011年レインボー基金申請書 参照)
7. シンポジウムの企画：定款5条1-④
- 1) 2011年11月2日または7日開催予定 会場;帯広市内  
北海道アンガス牛枝肉共励会と同日開催で日程調整
  - 2) 協力・支援機関の発掘とその共同開催を模索し、生産者消費者の参加促進を図る。
  - 3) テーマの考え方：自給飼料による牛肉生産体制の構築と副産物の飼料活用
  - 4) e-びーふの比較食味テストを意見交換会に組み込み、副産物利用生産牛肉の特長を見だし、消費者へのアピールを図る。
8. 機関誌発行・ホームページ編集：定款5条1-⑤
- 1) 会報発行 年1回機関誌「アグリサイクル」10号を発行する。
  - 2) インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

## 2012年度予算案

(別紙 2012年度 予算書 参照)

## 役員改選について

現役員任期は 2013年4月1日から2015年3月31日までで今年度は改選なし。

## その他